

正観

2025年 4月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会長 曾根 孝悦 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

ようやく春めいて参りましたが皆様方にはますますご精武のことと存じます。

さて、東北地区クラブではこの度の総会で各種議案が承認され、米沢例会を皮切りとして各地での例会や10月にはIGKC 60周年記念となる全国例会（東京）を予定しております。

今春より65歳以上の方の六、七、八段審査の受審資格が変更され、修業年限が六段（5年→2年）、七段（6年→3年）、八段（10年→5年）に短縮されましたが、受審資格の有無にかかわらず、剣道修行の一環として各種事業に参加され研鑽を積んでいただければ幸いです。

今年度も皆様方のご意見を取り入れながら充実した事業を展開して参りますのでご協力をよろしくお願いいたします。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ

幹事長 三條 貞夫



1 山形県米沢市例会の報告

春の兆しを感じる 3 月 30 日（日）、三條かの記念館会議室および剣道場において 2025 年度の通常総会並びに第 1 回東北地区クラブ例会が開催されました。20 名の会員にご参加いただき、活気溢れる新年度の幕開けになりました。

会場をご高配賜りました三條貞夫先生には格段のご配慮いただきましたことを心より厚く御礼申し上げます。

また会員の剣道の向上を願って熱心にご指導賜りました遠藤勝雄先生、曾根孝悦先生、佐藤孝康先生、三條貞夫先生をはじめ、ご参加くださいました会員の皆様にあらためて心より感謝申し上げます。今回ご都合のつかなかった皆様も次回は是非参加くださいますようお願いしております。

(1) 東北地区クラブ通常総会概要

曾根会長の開会のご挨拶の中で今年は IGKC 創設 60 周年にあたり、全国例会が関東地区クラブの主管により東京で盛大に行われることや記念誌の発行が計画されていることの紹介がありました。また全国例会については再来年東北地区クラブの主管で開催されることから、特に若手の会員を増やして強化していけるように会員全員で協力していきましょうと話されました。

1 出席会員数 （会員数 47 名） 出席者 16 名・委任者 24 名 合計 40 名

2 司会 渡邊一仁先生
議長選出 小林房雄先生

3 遠藤近志事務局長から下記の議案が説明されてすべて原案通りに可決承認されました。参加できなかった会員には報告書を送付いたしますのでご確認ください。

① 2024 年度事業報告と 2025 年度事業計画案

② 2024 年度活動計算と 2025 年度活動予算案

*令和 7 年度は 6 回の地区例会を計画しておりますので是非ご参加ください！

4 三條幹事長から IGKC の活動について報告がありました。

★今年の全国例会は 10 月 24 日（金）～26 日（日） 東京都目黒区立中央体育館

★創立 60 周年記念誌には遠藤勝雄先生、曾根会長にご寄稿していただきます。

★IGKC の近況、海外交流の状況については曾根会長からもご紹介がありました

○3 月 14（金）～16（日）台湾・高雄市国際親善剣道大会に東北地区クラブから
団体 2 チーム、個人 6 名が参加しました。

○5 月 3 日（土） 全国通常総会 会場：京都市 ホテルオークラ京都

○6 月 7 日（土）8 日（日）韓国社会人剣道大会 ; ソウル

- 7月 チェコ・スウェーデン・ラトビア
○10月 スイス・ギリシャ・オーストリア（募集は締め切られました）

5 ご意見・要望など

- 3月末に実施している審査研修を3月初めに繰り上げて行った方が審査受審に対して効果的だと考えられるので例会の日程を検討して欲しい。
- 地区例会とは別に審査対応の特別講習会を開催してはどうか。速報として地区クラブの他にも広く周知すれば会員の増加につながることも期待できる。
- 「日本剣道形」の講習を重点的に実施する機会を設けて欲しい。
- 現在、地区例会等の開催をメールや葉書で案内しているがLINEの活用を希望する。
- 国際交流の情報をもっと早く教えて欲しい。
- 九州地区クラブのような座学の間を設けられないか。
- 動画の撮影について検討して欲しい。

(2) 地区例会の研修内容

会員同士のまわり稽古

【遠藤先生からの講評・ご指導】

- ・**氣勢・気迫** 情気を運ぶのではなく充実した気の攻め、気で勝って技を施す。
- ・初太刀は、ここという機会に技を出すのだから**打ち切る**こと。「打ち切り」は打突後体を運ぶこと。打突後相手から数歩進むだけでなく相手に体当たりして気位を示すことも打ち切りになる。
- ・攻め合いがなく仕掛け技が多い。仕掛け技を打つことばかり考えるのではなく相手を見て三殺法で相手を動かす。「**攻めて打たせて打つ**」を心掛けることが肝要。
- ・攻めの中で**応じる**。応じ技は**体捌き**が重要。剣捌きと体捌きを稽古する。

《参考資料》

ご指導の中で遠藤先生が合気、相手との調和について引用されていた『五五の十、二八の十、一九の十』の言葉についての資料をご紹介します。
「日本剣道研究会 研究書 兵法虎の巻」の一節です。

来れば即ち迎え 去れば即ち送る 対すれば即ち和する

五五の十 二八の十 一九の十

これを以って和すべし

虚実を察し 陰を滅し 大を伏し 方を絶し 細に処し

微塵に入り 殺活機に在り 変化時に応ず

事に臨んで心を動かす勿れ

審査研修

春の審査会を目前に、審査研修を実施いたしました。八段受審の先生方には遠藤先生、佐藤先生に、七段受審の先生方には曾根先生、三條先生に一人一人の立合いを丁寧に見ていただき、各人に重要課題のご指摘やご指導を賜りました。以下にその一部を記載させていただきます。



～八段受審会場～

- ・相手にズズッと攻めての気あたりは素晴らしい。そこで乗って打てばなお素晴らしい。
- ・前足に体重を掛けていると（前足の力を抜かないと打てないので）拍子が狂う。支え足に体重乗せ、右足を自由にさせる。
- ・横に体捌きしない（気位がない）、前に足を運ぶ、気に乗せて前に出る。横に動いて縦に打つのは難しい。足が横に広がっていると、前に打つのが難しい。
- ・ただ横に動くのは攻めにならない無駄な動きになる。
- ・基本の足構え（自然体）だと瞬時に体捌きができる。無理なく打てる。
- ・心気力一致していない。捌きの中で打つ練習をする。
- ・刃筋正しく、心気力一致した打ちのため、大きく打ち切った切り返しの練習をすると良い。
- ・打ち切った打ちには、左手のオクリ、右手のシボリが必要。
- ・面摺り上げ面は体を捌くのが大事。
- ・日本剣道形小太刀1・2本目仕太刀の足捌き
「気を合わせ、足捌きで相手の面打ちをかわして打つ」の参考にする。
- ・合気、相手に従って勝つ。
パワー剣道では自分よりパワーが上の人には勝てない。
- ・拍子を変える（裏をかく）。打つぞと攻めていかない、いかないと見せて打つ。
- ・相手の心を動かし、自分の心を動かさない。

- ・相手を制する時は外すだけでなく中心をおさえる。技を出す前の気をおさえる。
- ・相手の技を受けっぱなしにするのは駄目、受けたら打つ。
- ・打つべきチャンスの時は打つ。打たないで見てしまっている。
- ・女性は体力で男性に対し2割のハンディがある。打たせておいて胴などの体の裁きを研究する。
- ・相手とのやり取りがあって良い。溜めがあって良くなった。どう技を出すか、出させるかが課題。
- ・攻めて溜めているつもりだが溜めていない。
- ・自分の思うとおりに相手を動かすのが「先」。相手に気のオーラをぶつける。



～七段受審～

- ・カミ過ぎ、力を抜いて軽やかに打つ。
- ・一本につながる技を出す。
- ・大きい面打ちの一刀両断は評価される。
- ・応じ技、カミ過ぎ、足捌きがないので決まらない。体捌きが必要。
- ・間合いをジリジリ詰め、気迫で迫ると、相手は打ってくる。
- ・一本見事な技が決まれば、あとは焦らないで慎重に技を出す。逆に取られても動揺しないで自分の良いところを出す。
- ・打つぞ、打つぞではなく普段できているところを出す。
- ・女性はしなやかに身構えて相手を来させて応じ技を出す
- ・しっかり攻めて落ち着いて打つ。

指導稽古

引き続き、遠藤先生、曾根先生、佐藤先生、三條先生に元に立っていただき時間を延長して密度の濃い充実した例会となりました。指導稽古の最後に佐藤先生から面打ち稽古のご指導がありました。

◇間合いを盗む。打ち間から一步出て打つと相手に起こりが分かる。

触刃から始めて一足一刀の間合いに入ったら左足を引き付けて構えておいて、その場から一刀で打ち切ると起こりが分からない。

講評

最後に遠藤先生から「剣道の高みにつながるように、今日話したことを聞き流さずに各自検証し、耳学問にしないで手足を動かして身に着けて欲しい。」と講評をいただき閉会となりました。

参加者

遠藤勝雄、曾根孝悦、佐藤孝康、三條貞夫、渡邊初男、三浦均、井上均、矢作和雄、西口晃、種村信行、三條祐介、小林房雄、小淵俊江、佐々木幹彦、櫻井聡、伊勢健一、細谷国昭、江俣和代、地元の先生方
総会；遠藤近志、渡邊一仁 (順不同・敬称略)

2 令和7年度地区例会の開催について

令和6年度東北地区クラブ例会を下記により開催予定（全6回）です。ただいま調整中のため、詳細が決まりましたら、あらためて会員の皆様にお知らせいたします。

《令和7年度の予定》

	開催日	開催場所	状況
地区例会・総会	3月30日（日）	山形県米沢市	実施
全国総会	5月3日（土）	京都市	決定
地区例会	6月21日・22日（土・日）	福島県福島市	調整中
地区例会	7月20日（日）	宮城県仙台市	調整中
地区例会	8月16日・17日（土・日）	山形県米沢市	決定
全国例会	10月24（金）～26日（日）	東京都目黒区	決定
地区例会	11月8日・9日（土・日）	岩手県北上市	調整中
地区例会	12月7日（日）	宮城県蔵王町	調整中
地区例会	令和8年1月24日（土）剣道形	宮城県仙台市	調整中

3 会員の動向

新入会 及川勝政先生（宮城）
退会 三浦隆昭先生（山形）
渡邊茂樹先生（福島）

先生方のこれからの益々のご精進とご活躍をご祈念申し上げます！

なお 及川先生は及川成美先生とご夫婦でいらっしゃいます。皆様よろしく願いいたします。

4 その他

年会費未納の会員が数名おられます。忘れずに納入いただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆ 当クラブ副会長(本部理事長)曾根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」この著書は曾根先生が剣道を始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた事を集約したもので、指導の手引きや自分の剣道を高めるのに必ずや役立つものと思います。1冊 1,000円で領布致します。各地区の指導者の皆様にも是非お勧めください。数がまとまれば発送いたします。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行 出村大光氏 s-bungu@axel.ocn.ne.jp

関東地区クラブ 幹事長 中川岳人氏 nakagawatake@catv296.ne.jp

東海地区クラブ 幹事長 足立 誠氏 makoto.adachi51@gmail.com

近畿地区クラブ 幹事長 久保達也氏 tatsuyakubotatsuya@gmail.com

中国地区クラブ 幹事長 寺本昭彦氏 z04zkxf8fe@hi3.enjoy.ne.jp

九州地区クラブ 幹事長 池永裕一郎氏 Yuichi.kng@gmail.com

編 集 後 記

桜も開花し心地よい春風の薫る新年度がスタートしました。「正観」第101号は通常総会の報告を盛り込んでお届けしました。会員から出された沢山のご要望やご意見をこれからの地区クラブの運営に活かしてより活発で魅力的な会に発展していくことを祈念しております。

諸事情により昨年より会報の発行が滞り、会員の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。編集員一同、これからも活動の様子などをお伝えしてまいりますので引き続きご指導とお支えを賜りますようお願い申し上げます。

(江俣和代)